

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
共通基礎科目	2単位 教養科目	日本国憲法	大木裕一郎	1年次	秋

授業のキーワード	国民主権・基本権・平和主義
授業の概要・目的	今日的な社会動向や出来事を参考に、日本国憲法の基本原理を解説します。その全体を理解し、国家の統治や地方自治の制度やあり方を考えながら、現代社会の課題を考察します。
履修のアドバイス・前提科目等	高校時代までに得た日本国憲法に関する予備知識を基礎とし、国の政治の仕組みや国民の基本権などを掘り下げて説明します。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	憲法概論について	前文の解釈について。 今なぜ、憲法が論議されるのか、日本国憲法の成立を通じて考えます。	第9講	生存権の保障	「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」について考察します。今、社会保障制度は崩壊の危機にあるとも言われ、労働法の曲がり角とも言われています。
第2講	国民主権と象徴天皇について	国民主権と象徴天皇の意義を考えます。	第10講	国会	国会の地位、組織と活動、機能について解説します。
第3講	戦争の放棄（第9条）	第9条の内容とその解釈。 憲法改正論議のポイントについて考察します。	第11講	内閣	行政権と内閣、組織と機能、議院内閣制について解説します。
第4講	国民の権利及び義務（国民主義）	日本国憲法の三大原理のひとつ国民主権主義について考えます。 国民主権と民主主義の関係について。	第12講	裁判所	司法権の意味と範囲、「司法権の独立」とは何かを考察します。
第5講	基本権の考察	基本権の概要について。 基本権の新しい動向としてのプライバシー保護（個人情報保護）及び環境権等の考察を行います。	第13講	国の財政	財政のしくみ、一般会計と特別会計について解説し、予算作成と国会の議決について考えます。
第6講	社会的な基本権	「生存権」について、教育を受ける権利、教育の義務、労働者の権利、社会福祉などについて現在の課題を考察します。	第14講	地方自治	地方自治の本旨や条例について解説します。 住民自治とは何かの考察をします。
第7講	精神的自由権	「思想・良心の自由」、「信仰の自由」、「学問の自由」、「表現の自由」など憲法で保障されている精神的自由権を考察します。 報道の自由とプライバシー権について。	第15講	試験	
第8講	財産権の保障	私有財産の保護と制限、刑事司法と手続きについて考察します。	評価方法		定期試験 80% 出席状況 20%
備考 (関連する資格・試験等)		公務員採用試験、あるいは、法学検定試験委員会が主催する「法学検定試験」4級以上の出題対象科目です。また、数種の資格試験においては単位取得が必須条件になっています。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		

六法全書（コンパクトなものでよい）あるいは日本国憲法
全文の写しを用意してください。

適宜、授業時間内に指示します。